

施策評価シート（平成27年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	2-1	政策名	環境の保全	政策の 目指す姿	豊かな自然と生活環境を守り 暮らしています	施策 主管課	生活環境課	施策主管 課長名	清水 正浩
	施策No.	2	施策名	自然環境の保全	施策の 目指す姿	自然への理解を深め、自然を 保護する活動を行っています	関係課名	大迫総合支所地域振興課		
	現状と課題	本市の豊かな自然環境を保護し、次世代に引き継いでいくため、市民一人ひとりが自然に対する理解を深め、自然と共生していく意識を持つことが大切です。								

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

(1)自然保護の推進
○早池峰山等の自然環境保護
・早池峰国定公園地域における自然公園保護管理員の設置や花巻市、遠野市、宮古市等で構成する早池峰山国定公園地域協議会への支援を実施
○水質の定期観測
・河川の水質環境を調査するための定期的な観測の実施
○希少生物等の保護団体への支援等
・ゼニタナゴの生息環境を保全するため、水路の整備を実施
・特定外来生物の駆除についての啓発
○環境保全意識の啓発
・早池峰山地域におけるごみの投げ捨てや登山道以外への侵入による高山植物の踏みつけ防止などの啓発
・水生生物調査や環境マイスター派遣制度を活用した身近な環境調査等により環境保全意識の啓発

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28
自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合	市民がどれだけの割合で自然保護を守る活動に関わったかを示す指標	出典：市民アンケート(新規) 問：あなたはこの1年間に、次のような自然環境を守る行動をおこなったことがありますか。？いくつかもあてはまるものに○をしてください。(1)身近な水辺空間の環境保全 (2)野鳥や生き物が住める環境づくり (3)自然環境を守るための学習活動 (4)植樹などの森林の保護活動 (5)住んでいる地域の美化活動 (6)その他(具体例) (7)何もしていない ※一つ以上選択者をカウント	%	目標値				63.0	65.0	67.0
				実績値	-	58.6	56.6	59.9	62.3	
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
B	<p>■成果指標「自然環境を守るための行動を実際に行っている市民の割合」・・・【達成度 b】</p> <p>H26に比べ行動を実際に行っている市民の割合は増加しているが、目標値には届かなかった。要因は自然保護活動についての周知の不足が考えられることから、自然保護活動の中広い周知やさらなる意識啓発を行い、行動へと結びつけるよう関心を高めていく必要がある。</p>

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1	自然環境保全活動推進事業	大迫総合支所地域振興課	A	-
	早池峰国定公園地域での自然環境保全のため、自然公園保護管理員を配置(4人) 早池峰国定公園地域協議会の実施する入山式、盗採防止パトロール(11名)などへの支援			
2	環境学習推進事業	生活環境課	A	C
	環境マイスター派遣制度による環境学習の実施(派遣回数14回)			
3	在来生物対策事業	生活環境課	A	-
	ゼニタナゴの生息環境を保全するため、自然保護団体に老朽化した水路の板柵の修繕について支援を実施(修繕延長 L=16.7m)			
4	特定外来生物駆除啓発事務	生活環境課	A	-
	アレチウリ、オオキンケイギク、オオハングンソウ、セアカゴケグモの駆除について、ホームページにより啓発(ホームページに随時掲載)			
5	河川水質定期観測事務	生活環境課	A	-
	市内の河川水質の定期観測を実施(37地点 147回)			
6	河原の坊施設管理事業	大迫総合支所地域振興課	A	-
	河原の坊総合休憩所、早池峰山頂避難小屋、鶏頭山避難小屋、うすゆき山荘の維持管理			
7	ハヤチネウスユキソウ生誕80年記念事業	大迫総合支所地域振興課	A	-
	ハヤチネウスユキソウのを始めとする高山植物の保護について理解を深め、豊かな自然と生活環境の保全を図るため、「うすゆき草サミットinはなまき」を開催した。			

5 施策を構成する事務事業の検証

(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)
環境マイスター派遣制度による環境学習の参加人数が減少したが、小学校の水生生物調査の実施や緑化推進の分野における開催回数の減少が影響しているものである。

(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)
環境マイスターを講師とした環境学習講座の開催を検討する。

(新たに取り組むべき事業はないか)

6 施策の総合的な評価

(課題)

- ・早池峰山地域においては、関係機関や自然保護管理員による自然保護活動により自然環境の保全が図られているが、引き続き登山者のマナーの向上について意識啓発を図る必要がある。
- ・特定外来生物の生息域の拡大により、在来種の衰退などの生態系への影響や市民生活への影響が懸念される。

(今後の方向性)

- ・早池峰山地域における自然環境を守るため、関係機関や自然保護管理員による自然保護活動を継続することにより、登山者に対する携帯トイレの普及などのマナーの向上を図るとともに、高山植物の保護についての理解と自然環境の保全に努める。
- ・希少生物の保護について、引き続き支援を実施するほか、特定外来生物については、ホームページや広報誌により周知に努め、生態系の保全を図る。